

リンパ浮腫セルフケア指導者のための研修教育要綱

- ◎研修時限:①35時限(座学16時限・実習16時限・到達度評価3時限)以上のカリキュラム。
②「専門的なリンパ浮腫研修教育要綱」の規定により一時限を45分ー60分とする。
③最低4日間(1日8時限毎)のコース。試験は研修終了後、日を改めて実施。

- ◎一般目標:①リンパ浮腫の予防・初期対応・症状緩和・症状維持を主とした適切な対応を行うため、患者自身もしくは家族が行うセルフケア主体の対応方法を修得する。
②自宅での適切な自己管理の指導が行えるために、患者指導・家族指導における適切な指導スキルを修得する。
③進行がん・末期がんの各種「浮腫」の苦痛・苦悩の緩和のために、複合的治療を応用した可能な範囲内での基礎的対応方法を理解し、修得する。
*直接的な施術を目的とせず、あくまで、セルフケア指導と自己(家族含)対応の範囲を逸脱しないこと。

- ◎修得単位:「専門的なリンパ浮腫研修」との単位移行は、セルフケア項目の時限数(座学4時限分・実習4時限分)を任意で判断する。

- ◎重症度 :この研修では、術後～重症度Ⅱ期早期までのリンパ浮腫患者および進行がん・末期がんの浮腫症状を呈する患者を対象とする。

座学編

1) I A: 総論(8時限以上)

基礎科目①(基礎): 4時限以上

【キーワード】リンパ学、脈管学、腫瘍学、解剖学、生理学、発症機序、病態、乳腺、子宮・子宮附属器、泌尿・生殖器、下部消化管、循環器、皮膚科・整形外科領域術後、原発性(一次性)リンパ浮腫、続発性(二次性)リンパ浮腫、外科的治療の影響、化学療法の影響、放射線治療の影響、進行がん、末期がん、緩和ケア

【講義項目】

1. リンパ学(解剖学・生理学)
2. 脈管学(解剖学・生理学)
3. リンパ浮腫総論(発症機序、発症の要因)
4. 腫瘍学総論(各がん種の治療方法とリンパ浮腫との関係)
 - ①乳腺科領域
 - ②婦人科領域
 - ③泌尿器科領域
 - ④消化器科領域
 - ⑤皮膚科・整形外科領域
5. 進行がん・末期がんの浮腫総論(発症の要因、病態、問題点)

基礎科目②(診断): 2時限以上

【キーワード】症状、所見、診断法、病期、鑑別診断、合併症、蜂窩織炎、感染症、肥満

【講義項目】

1. 医学的検査・評価法総論
2. 画像診断法
3. 理学的検査法
4. 鑑別診断
5. 各種症候論

基礎科目③(治療): 2時限以上

【キーワード】リンパ浮腫指導管理、適応・禁忌、治療選択肢、複合的治療(複合的理学療法を中心とする保存的治療)、複合的治療以外の保存方法、LVA、LVA以外の外科的治療、EBM(Evidence-based Medicine)、診療ガイドライン、診療用クリニカルパス、チーム連携、チーム医療、治療体制

【講義項目】

1. 複合的治療
2. 外科的治療
3. 診療ガイドラインとEBM
4. 診療用クリニカルパス
5. 治療体制・チーム連携

2) IB:各論(8時限以上)

臨床科目①(予防・治療・セルフケア):4.5時限以上

【キーワード】リンパ浮腫指導管理、適応・禁忌、治療選択肢、複合的治療(複合的理学療法を中心とする保存的治療)、日常生活の注意点、圧迫療法(弾性着衣・包帯)、多層包帯法(MLLB)、用手的リンパドレナージ(MLD)、シンプルリンパドレナージ(SLD)、運動療法、体重管理、スキンケア、衣料品・靴、アセスメント、セルフチェック、療養費払い、装着指示書

【講義項目】

1. 予防
2. 治療
 - 1)リンパドレナージの基礎
 - 2)アセスメント方法
 - 3)スキンケア
 - 4)運動療法(運動・活動)
 - 5)圧迫療法
 - 6)症例報告と事例検討
3. セルフケア

臨床科目②(ADL・QOL):2時限以上

【キーワード】ポジショニング、体位調整、体動、起居動作、移動動作、家事動作、日常生活動作、日常生活活動、環境調整、自助具、補装具、介助指導、心理的サポート、社会的サポート、社会制度、情報収集、コミュニケーションスキル

【講義内容】

1. ADLへのアプローチ(日常生活動作)
2. IADLへのアプローチ(日常生活活動)
3. QOLへのアプローチ(心理的サポート)
4. 社会資源の使い方(情報収集の方法・社会的サポート)

臨床科目③(進行がん・末期がん):1.5時限以上

【キーワード】進行がん、末期がん、緩和ケア、要因、病態、診療用クリニカルパス、適応・禁忌、進行がん・末期がん患者のADL、進行癌・末期がん患者のQOL、家族連携

【講義内容】

1. 進行がん・末期がん患者の病態と浮腫
2. ケア内容の概要とADLへの対処方法
3. 症例紹介と症例検討

座学編：到達目標

IA:基礎科目

1. リンパ浮腫の成因を理解した上で、解剖学的構造と生理学的機能を説明する。
2. リンパ浮腫の病態生理を理解した上で、その成因を分類(識別)し説明する。
3. がん治療に伴うリンパ浮腫の病態を理解し、原疾患の基礎知識とその治療がもたらすリンパ浮腫のリスクを関係付けて説明する。
4. リンパ浮腫の理学所見や各検査、アセスメント結果から病期を分類し説明する。
5. リンパ浮腫の症状と病期の特徴を説明する。
6. 適切な診断方法を選択し、検査結果から病期分類および鑑別すべき疾患との相違を対比し説明する。
7. リンパ浮腫の合併症を認識し症状や所見を具体的に類別しそれぞれに最適な対処法を示す。
8. リンパ浮腫の治療選択肢を理解し各治療理論の特徴を説明する。
9. リンパ浮腫治療の適応と禁忌を理解し個々の病態を比較し最適な対処方法を示す。
10. リンパ浮腫に対する複合的治療(複合的理学療法を中心とする保存療法)の適応ならびに患者指導の方法を理解した上で、各病期における具体的なセルフケアの方針と指導内容を示す。

IB:臨床科目

11. 予防における留意点と指導方法を説明する。
12. 発症後のセルフケアの具体的方法とその指導方法を説明する。
13. 事例検討を通じて、セルフケア指導の効果を具体的に説明し、その効果を評価するとともに提示された患者の経過を通じて前後を対比する。
14. ADL・IADLの障害因子を分類対比し、具体的な対処方法を示す。
15. 心理的苦悩を理解し、適切なQOLへの対処方法を示す。
16. 社会資源や情報の収集方法を分類、対比し示す。
17. 進行がん・末期がんの浮腫の特殊性を理解した上で、病態に応じて基礎的な対処方法を説明する。

実技編

1) IC—実技演習(16時限以上)

実習科目①(評価):2時限以上

【キーワード】アセスメント、セルフチェック

【実習内容】

1. セルフケアに活かすための評価方法の実習
2. セルフケアに活かすためのセルフチェック方法の実習

実習科目②(スキンケア・運動療法):1時限以上

【キーワード】スキンケア、運動療法(運動・活動)

【実習内容】

1. セルフケアに活かすスキンケアの実習
2. セルフケアに活かす運動療法(運動・活動)の実習

実習科目③(シンプルリンパドレナージ):5時限以上

【キーワード】シンプルリンパドレナージ、セルフリンパドレナージ

【実習内容】

1. セルフケアに活かす自分で行うシンプルリンパドレナージ方法の実習
(* 指導上の留意点や適応項目を含む)
2. 自宅管理で家族が行うシンプルリンパドレナージ方法の体験
(* 自己で行えない場合の対処方法を体験し、知る)

実習科目④(圧迫療法:弾性着衣を主体に):5時限以上

【キーワード】弾性着衣、着用法、計測法、処方方法、多層包帯法の経験

【実習内容】

1. 弾性着衣の種類把握と、計測方法、処方方法の実習
2. 弾性着衣の正しい取り扱いと着用方法の実習
3. MLLB(多層包帯法)の体験(重症者が行う多層包帯法を一通り体験する。)

実習科目⑤(進行がん・末期がん):3時限以上

【キーワード】SLDの工夫、症状緩和的対処、圧迫療法の工夫、各種包帯法、筒状包帯
環境調整、自助具、補装具、日常生活動作、家族指導

【実習内容】

1. 進行がん・末期がん患者へのSLDの工夫
2. 進行がん・末期がん患者への圧迫療法の工夫
3. 家族指導方法

実技編：到達目標

IC:実習科目

1. セルフケアに活かすための各対応手技を模倣し、指導者の指導の下、複数回練習することで熟練する。
2. 適切なアセスメント方法・セルフチェック方法を示し適用する。
3. 症例の病態に応じたスキンケア方法を示し適用する。
4. 運動療法(運動・活動)の重要性を理解した上で、病態に応じた具体的な方法を示し適用する。
5. 自分で行うシンプルリンパドレナージの指導上の留意点や適応項目を理解した上で、症例の習熟度にあわせた手順・方法を示し適用する。
6. 自己でのシンプルリンパドレナージが行えない場合の対処方法を一通り体験した上で、具体的な対処方法を提示し、説明する。
7. 症例の病態・病期に応じた圧迫療法を選択し、主に弾性着衣での対処方法を示し適用する。
8. 症例の病態・病期に応じた弾性着衣の選択と、着用方法の指導および取り扱い方法を示し適用する。
9. 弾性着衣の種類と保険制度を理解し、適切なものを選択し適用する。
10. 進行がん・末期がん症例の病態やその必要に応じてSLDの方法を選択・工夫して適用する。
11. 進行がん・末期がん症例の病態やその必要に応じて圧迫療法の方法を選択・工夫して適用する。
12. 症状・病態に応じた家族指導を行う。
13. 症状・病態に応じた環境調整や補助具・自助具の選定を行う。
14. セルフケアの長期的な経過を観察する方法を示し適用する。

到達度評価

効果測定(3時限以上)

テスト科目①(筆記テスト):2時限以上

【テスト内容】

1. 筆記テスト(*座学編の項目すべてを対象)
2. セルフケア検討(*症例提示し、セルフケア内容を立案)

テスト科目③(実技テスト):1時限以上

【テスト内容】

1. 実技テスト(基礎的手技の確認)
 - ①セルフチェック/アセスメント
 - ②シンプルリンパドレナージ
 - ③弾性着衣の着用方法(他者が行う場合/自己で行う場合)
